

公益社団法人 日本臨床腫瘍学会

「がん免疫療法に関する包括的教育プログラム」

募金趣意書

御挨拶

謹啓 時下、貴社におかれましては益々の御隆盛のことと御慶び申し上げます。
また日頃より、貴社には格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年の、がん免疫療法の臨床導入に伴い、多くの患者がその恩恵を享受する一方で、適切なマネジメントのできる医療者の育成が急務となっております。また、本邦において、腫瘍内科医の充足は未だ達成できておらず、がん医療の地域間差の是正も大きな課題であります。さらに、免疫療法に関する誤った理解が社会に蔓延している現状も、一般市民の適切な免疫療法へのアクセスを妨げる極めて大きな問題と理解しております。

そういった現状を踏まえ、この度当学会では、がん免疫療法に関わる医療者、腫瘍内科医を目指す医学生・研修医、さらには患者、患者支援者、一般市民を対象とした、「がん免疫療法に関する包括的教育プログラム」を遂行する運びとなりました。本邦におけるがん免疫療法の行方を左右する重要な教育プログラムと理解しておりますが、参加者からの会費、当学会の通常予算だけではまかないきれないのが現状です。諸経費、御多難の折、誠に恐縮でございますが、本プログラムの趣旨にご賛同いただき、貴社よりの支援を賜りたく存じます。

本来ならば参上し、拝眉の上お願いすべきことではございますが、本書面を借りてご高配とご援助の程衷心よりお願い申し上げます。なお、拠出いただきました寄付金につきましては、各社が公表されることを了承いたします。
末筆ながら、貴社の一層のご発展を祈念いたしております。

謹白

公益社団法人 日本臨床腫瘍学会

理事長 石岡 千加史

東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野教授

東北大学病院腫瘍内科長



I プログラム概要

プログラムの名称	がん免疫療法に関する包括的教育プログラム
代表者	公益社団法人日本臨床腫瘍学会理事長 石岡 千加史

1. 実施期間

2018年1月1日～2020年12月31日の3年間（内、本年度は2年目）

2. 本プログラムの目的

日本臨床腫瘍学会（JSMO）のミッションの1つとして、臨床腫瘍学の専門家の養成をあげております。かねてより、教育セミナー、学術集会における教育セッション、およびBest of ASCO in Japan (BOA)を通じて教育的活動を行い、いずれの活動も、貴重な教育の機会として認知されてきました。

一方、腫瘍内科医の不足は、未だ解決されない課題であり、当学会が認定するがん薬物療法専門医は必要数推計3,000人に対して、ようやく1,000人を超えたに過ぎません。さらに、昨今の、がん免疫療法の臨床導入に伴い、その適切なマネジメントのためには、従来の薬物療法とは異なる知識、経験が必要とされています。そういった背景から、当学会では、腫瘍内科医のみならず、がん免疫療法に関わる全ての医療者を主な対象とした、教育プログラムを計画いたしました。本プログラムの目的は下記であります。

- 1) 腫瘍内科を志す人材を育成する。
- 2) がん免疫療法を十分理解し、適切なマネジメントを行える腫瘍内科医、臓器別内科医、外科医、看護師、薬剤師、その他の医療者を育成する。
- 3) がん免疫療法に対する正しい理解を社会に提供し、適切ながん免疫療法へのアクセスを保証する。

3. 教育プログラム概要

本プログラムは、下記5つの活動に分類されます。

- 1) 若手医師を対象とした腫瘍内科学、がん免疫療法学に関するセミナー
- 2) 既存のJSMO教育プログラム（教育セミナー、学術集会教育セッション、BOA）に付随した新しいがん免疫（Immune-oncology, IO）療法教育セッション
- 3) 新しいIO教育セッション（各医療職、医学生、患者・一般市民対象、都市部開催）
- 4) がん医療における都市部と地域間の差を是正するための活動（主として9地域開催の多職種セミナー）

5) IO 教育マテリアルの開発

尚、詳細なプログラム計画をご入用の場合は、お申し付けください。

4. 寄付金を必要とする理由

本教育プログラムでは、3年間で延べ約32,000人の医療者と一般市民が教育を受ける見込みです。この人数は、我が国のがん免疫療法を適切な形で根付かせるにあたり、有意なインパクトを与えるに十分であると考えています。プログラムに要する費用は、約6億1千万円/3年間（下表参照）と試算しております。これらの諸経費は、本来、参加費、学会費からの補助金で賄われるべきではありますが、個人参加者の負担には限度があり、相当額をご企業からの御賛助に頼らなければならないのが実情であります。諸事御多端の折、誠に恐縮に存じますが、がん免疫療法を担う医療者の養成のため、是非ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

5. 事務局連絡先

日本臨床腫瘍学会事務局

事務局長 後藤 悌

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-15 芝パークビル 6階

TEL：03-6809-1250

FAX：03-6809-1138

MAIL：jsmo@jsmo.or.jp

II 収支計画書

収入の部

費目	予算	備考
参加費収入	¥303,327,000	
協賛金収入	¥5,895,000	
教育事業積立資金より拠出	¥939,000	
寄附金収入	¥300,000,000	
【収入合計】	¥610,161,000	

支出の部

管理費	予算	備考
企画・製作費	¥67,140,000	
スタッフ人件費	¥44,928,000	
小計	¥112,068,000	
コンテンツ開発費	予算	備考
出版費用	¥1,800,000	患者向けブックレット
システム開発費一式	¥29,475,000	ウェブラーニングシステム
小計	¥31,275,000	
プログラム経費	予算	備考
会場費	¥171,540,000	
会議機材・備品	¥23,364,000	
印刷費	¥41,508,000	ハンドアウト, パンフレット
ライセンス使用料	¥3,240,000	Best of ASCO
小計	¥239,652,000	
謝礼金等	予算	備考
業務委託費	¥13,680,000	
演者謝礼金	¥82,980,000	
小計	¥96,660,000	
旅費	予算	備考
演者旅費交通費	¥53,106,000	
参加者旅費交通費	¥8,100,000	多職種チーム国内短期研修
スタッフ等関係者旅費交通費	¥69,300,000	
小計	¥ 130,506,000	
【支出合計】	¥ 610,161,000	

III 寄付金の募集要項

本プログラムに対する寄付金は、当学会口座へ直接ご入金お願い致します。

◇主催団体および代表者:公益社団法人日本臨床腫瘍学会

理事長 石岡 千加史

東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野教授

◇募金目的：がん免疫療法に関する包括的教育プログラムの運営のため

◇寄付金申込先：日本臨床腫瘍学会事務局

事務局長 後藤 悌

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-15 芝パークビル 6階

TEL：03-6809-1250

◇寄付金振込先：銀行名 三井住友銀行

支店名 浜松町支店

口座種別 普通預金

口座番号 7662440

口座名義 シヤ) ニホンリンシヨウシユヨウガツカイ

<注>ご寄付いただく際は、次頁の寄付金申込書を日本臨床腫瘍学会宛にFAX（03-6809-1138）送信後、お振込みをお願い致します。